

国家検定合格品

**東芝住宅用火災警報器
取扱説明書** 保証書付

対象機種 TCRL-10N (移報接点なし)

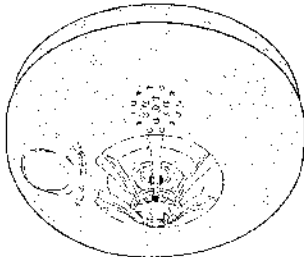
なるる

住宅用火災警報器 <音声タイプ>

熱式 電池10年タイプ

音声警報機能付

交換時期メッセージ機能付



このたびは東芝住宅用火災警報器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。また、ご使用の目的に「取扱説明書」および「保証書の表示」をよくお読みください。なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

販売店(工事店)様へ、工事が終了しましたら、保証書内に必要事項をご記入の上、必ずお届へお渡ください。

キリトリ線

東芝住宅用火災警報器保証書

形名	TCRL-10N									
★お名前	ふりがな									
★お客様	様									
★ご住所	〒□□□-□□□□									
★保証期間	市外		市内		番		呼			
★本体	1 年		★お買い上げ日 □□ 年 □□ 月 □□ 日から							
★販売店	住所・店名									
	電話									

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

東芝ライテック株式会社

住宅間システム部 住宅機器商品担当

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 TEL.044-331-7555

(60905)C

1. ご使用前に

- この商品は消防法の規格に基づく各種の試験に合格した国家検定合格品です。(「自動火災報知設備」には代用できません。)
- お取り付けいただいた部屋や廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめします。
- 商品を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書にはいろいろな注意事項を記載しています。以下の注意表示をよく理解してから本文をお読みください。

警告

取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。

注意

取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または警報機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。



「一般的な注意」事項を示す場合。



「一般的な禁止」事項を示す場合。



「一般的な指示」事項を示す場合。

2. ご使用上の注意

この商品は、火災で発生する熱を感知して警報する住宅用火災警報器で、消火装置や火災を防止する機器ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

警告



日焼、人のいない部屋に設置する場合は警報が聞こえることを確認すること。また、次のような場合は警報に気づかないことがあるため注意する。

- ・鼻の服用後または飲酒後に就寝した場合
- ・就寝時などに、離れた部屋の警報器が作動した場合
- ・交通、ステレオ、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きい場合

次のような火災では作動しないことがあります。

- ・火のまわりの早い火災
- ・くん煙火災(熱の発生しない火災)
- ・急発的な火災
- ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など

この製品を取り付けた部屋の扉やふすまを開けた時は、他の部屋で発生した火災を感知することはできません。



絶対に分解や改造をしない。
落下などにより衝撃を与えた機器は使用しない。
正常に作動しないおそれがあります。

雨水切れ・機器異常の警報器は使用しない。
火災時に作動しないおそれがあります。

デストのとき、ライターなどの炎を使用しない。
故障の原因となるばかりでなく、火災の原因になります。



取付ネジや専用リチウム電池の取扱い、乳幼児や了供の手の届かない場所で行う。
誤飲またはケカのおそれがあります。

高所の操作および作業は、安定した台に乗って行う。
転倒してケガをするおそれがあります。

注意



コンロやストーブの近くなど、高温環境になる場所には取り付けない。
誤作動の原因および性能に悪影響を及ぼすおそれがあります。

引きひもを取り付けている場合、引きひもを強く引かない。
引きひもがはずれる。または取付状態によっては本体が落下するおそれがあります。

耳を近づけて警報音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。



音響孔をテープなどでふさがない。
充分な警報音量が確保できないおそれがあります。

専用リチウム電池の接続は奥まで差し込む。
コネクタの差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

専用リチウム電池について

警告

- 必ず専用電池を使用する。
故障の原因や発火、漏液、発熱、破損のおそれがあります。
- 電池を火中や水中に投入したり、加熱、分解、改造、充電、はんだ付けなどをしてはいけません。
発火、漏液、発熱、破損のおそれがあります。
- 電池の交換は乳幼児の手の届かない場所で行う。
誤飲のおそれがあります。
- 本製品に使用のリチウム電池は、航空機輸送及び海上輸送の規制の対象品（国内、海外ともに）ですのでご注意ください。

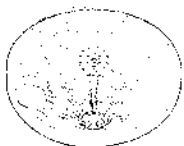
ご注意

- 電池からの漏液が目に入ったり皮膚に付いた際には、ただちに水洗いし、医師に相談してください。
- 電池のフィルムは、はがさないでください。フィルムは電池を保護するためのものです。

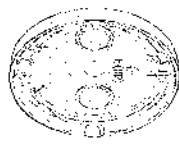
3. 商品のご確認

以下の商品内容物が揃っていることを確認してください。

①本体

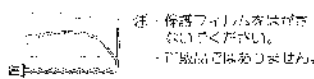


②取付ベース



基台と本体の取り付け部は、取付ネジで固定します。

③専用リチウム電池 (公称電圧 DC3V)

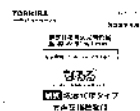


注：保護フィルムをはがさないでください。
・正極面にはありません。

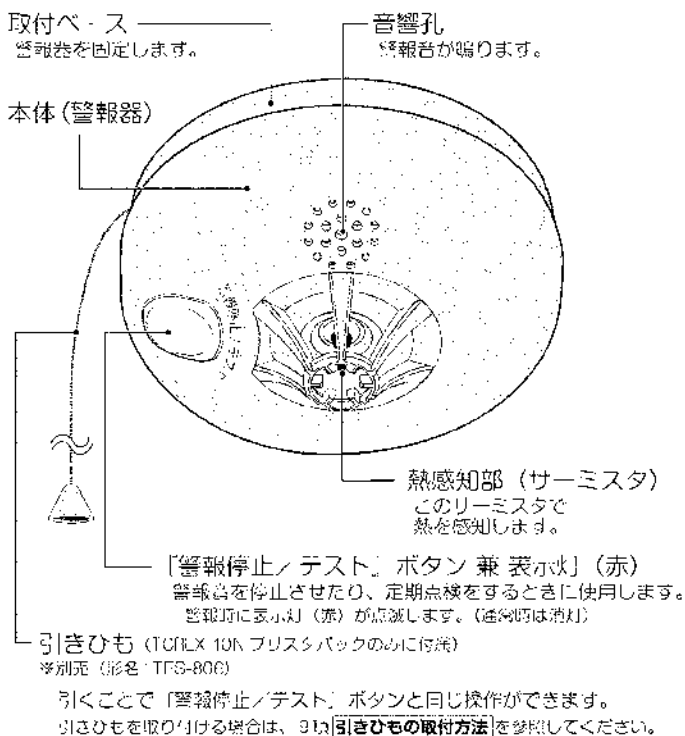
④取付ネジ（2本入り）



⑤取扱説明書（保証書付） (本書)



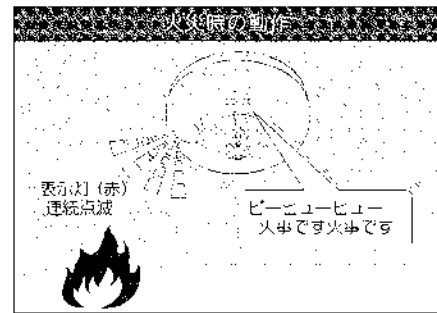
4. 各部の名称とはたらき



5. 機能（各警報について）

火災警報

熱を感知すると、次のように警報音と表示灯(赤)が連続点滅してお知らせします。



火災のとき

感知元(火元)を確認し、119番へ通報するなど適切な対応をしてください。
温度が下がると自動的に警報は停止します。

火災でないとき

火災以外でも次のような場合は警報動作をすることがあります。
警報音を停止し、換気をするなどして警報の原因を取り除いてください。
・ストーブの台など60度以上の熱を感知した場合

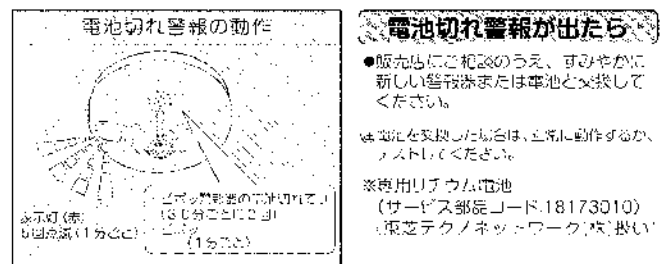
火災警報音を停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す(引きひもがある場合は引く)と約6分間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯(赤)がゆっくり点滅し続けます。

	感知部に熱が残っている場合は約5分後に再び火災警報音が鳴ります。 うちわや扇を送るなどして警報器を冷ますことにより火災警報は自動的に止まります。
	火災以外で警報が鳴っても、警報器本体や電池をはずさない。 その後の動作ができなくなり、火災を感知してお知らせすることができません。

電池切れ警報

専用リチウム電池の電池電圧が低下して電池の寿命が近づくと、次のように警報音と表示灯(赤)が約1分ごとに点滅してお知らせします。



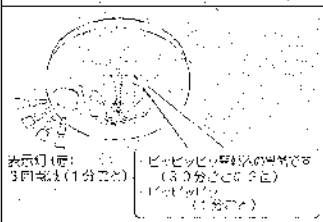
電池切れ警報音を停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す(引きひもがある場合は引く)と音で電池切れをお知らせし、約24時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯(赤)が10秒ごとに点滅します。
- 警報音停止中に操作をすることにより音で電池切れをお知らせし、最後の操作から約24時間警報音を停止します。

機器異常警報

警報器の感度が劣化し正常に火災を感知できない場合、次のように警報音と表示灯（赤）が約1分ごとに3回点滅してお知らせします。

機器異常警報の動作



機器異常警報が出たら

- 警報器の感度が劣化しています。すみやかに新しい警報器と交換してください。
- 警報器の感度が劣化している場合、正常に火災を感知できません。

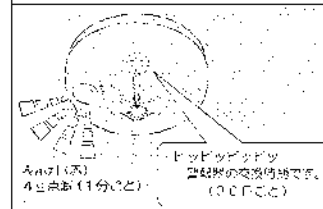
機器異常警報音を停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と音声で機器異常をお知らせし、約24時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯（赤）が10秒ごとに3回点滅します。
- 警報音停止操作をすることにより音声で機器異常をお知らせし、最後の操作から約24時間警報音を停止します。

交換時期メッセージ

専用リチウム電池を接続して10年を越え、次のようなメッセージが30秒ごと、表示灯（赤）が1分ごとに4回点滅してお知らせします。

交換時期メッセージの動作



交換時期メッセージが出たら

- 警報器の電子部品が劣化や感知部の汚れにより、故障または火災の感知が遅れる場合があります。交換時期メッセージが鳴動したら、すみやかに新しい警報器と交換してください。

●警報器の電子部品が劣化して故障した場合、火災の感知ができない他、機器異常警報も鳴動しません。

交換時期メッセージを停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と音声で交換時期をお知らせし、メッセージと表示灯（赤）が停止します。
- メッセージ停止後は、「警報停止/テスト」ボタンを押すことにより、交換時期メッセージをお知らせします。

注意

この商品は10年で交換
10年を越えて使用すると、汚れなどの影響により火災の感知が遅れる場合があります。
交換時期メッセージが鳴動したら、すみやかに新しい警報器と交換してください。

各警報の優先順位
後述の条件に該当している場合は、優先順位の低い警報を抑制します。

優先順位	①火災警報
	②機器異常警報
	③交換時期メッセージ

6. 定期点検のしかた（テスト）

正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

外観を確認する

（推奨点検頻度：1.2ヶ月に1回以上）

熱感知部にホコリやゴミなどの異物が付着していないか確認してください。

- ホコリやゴミの異物が感知部および周辺に付着している場合は、掃除機で取り除いてください。そのままの状態で使用すると火災の感知が遅くなったり、感知できない場合があります。

機能を確認する

（推奨点検頻度：1ヶ月に1回、または、3日以上留守にされたとき）

以下の要領でテストしてください。

テスト結果が正常以外の場合は、**対処方法**にしたがって対処してください。

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）。（3秒未満）
- （引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。）
- 操作音が「ピー」と鳴り、テスト結果を鳴動します。



結果	警報音（音声）	表示灯（赤）
正常	正常です	点灯 （「正常です」の音あり）
電池切れ	ピーッ 警報器の電池切れです	1回点滅 （ピポッ1回期）
機器異常	ピーッ 警報器の異常です	3回点滅 （ピーッ3回期）
交換時期	ピーッ 警報器の交換時期です	4回点滅 （ピーッ4回期）

対処方法

- 電池切れの場合
電池の残量が残り少なくなりました。販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい警報器または電池と交換してください。
※専用リチウム電池は市販品ではありません。
※設置後10年を経過している場合や著しく汚れている場合は、警報器を交換してください。
- 機器異常の場合
警報器の感度が劣化しています。すみやかに新しい警報器と交換してください。
※機器異常が発生すると、正常に火災を感知できません。
- 交換時期の場合
電子部品の劣化が考えられます。すみやかに新しい警報器と交換してください。
※電子部品が劣化して故障した操作、火災を感知できません。

注意

点検における結果報告の優先順位
後述の条件に該当している場合は、優先順位の低い警報音を抑制します。

優先順位	①火災警報
	②機器異常
	③交換時期メッセージ

補足：火災警報音の確認

火災警報音を確認したいときは、次の操作をしてください。

- 「警報停止/テスト」ボタンを押すと、操作音が「ピー」となり、そのまま約3秒以上長押しを続けると火災警報音を鳴動します。
（引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。）
※電池切れ・機器異常時は火災警報音の確認できません。



結果	警報音（音声）	表示灯（赤）
正常	ピー、ブー、ブー、火事です、火事です	連続点滅

※火災警報音は「警報停止/テスト」ボタンを押している間だけ鳴ります。（最大3秒間）

7. お手入れ方法

1.2ヶ月に1回程度、この箇所の掃除を行ってください。
掃除をする際は、本体を乾かしてから行ってください。

（1）本体を取りはずす

警報器本体を壁面に「壁くっつけ」けから、外して行ってください。
（取付ベースは壁面に残してください。）
※壁に掛けて使用している場合は、取付ベースごとはずしてください。



注意

感知部を持ってはけません。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

（2）お手入れをする

注意

警報音が鳴ることがあります。
「警報停止/テスト」ボタンに付着した汚れが原因で警報音が鳴動するおそれがあります。警報停止/テスト」ボタンに付着した汚れを拭き取ってください。

（3）汚れを拭き取る

本体が汚れたら、布を水または中性洗剤に浸し、十分に絞ってから拭き取ってください。
その際、熱感知部に触れないよう注意してください。



分解禁止	分解禁止 ※熱感知部は内部に設置されていますので分解しないでください。 正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。
水洗い禁止	水洗い禁止 内部に水が入らないよう気を付けてください。正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。
禁止	製品の使用禁止 ベンジン・シンナーやアルコールなどの化学薬品で拭き取らないでください。腐食や変形などの劣化して損傷することがあります。

（3）もとに戻す（お手入れ後）

お手入れ後は、本体を元に戻し「テスト（機能確認）」してください。
⇒**6. 定期点検のしかた（テスト）**参照

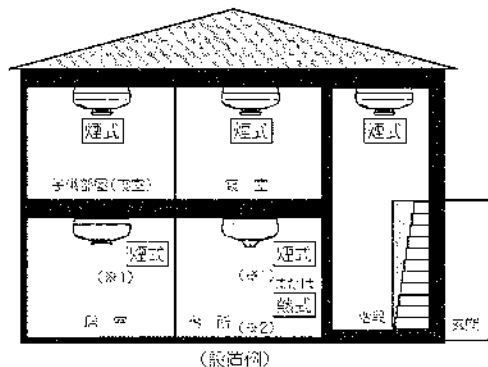
- 本体表面が乾いてから取り付けてください。
- 電池のコンタクトが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- 熱感知部にホコリやゴミの異物が付着していないことを確認してください。
- 引きひもがある場合は、引きひもを本体切欠部に確実に通してください。

8. 取付場所

取付場所については、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

取付場所

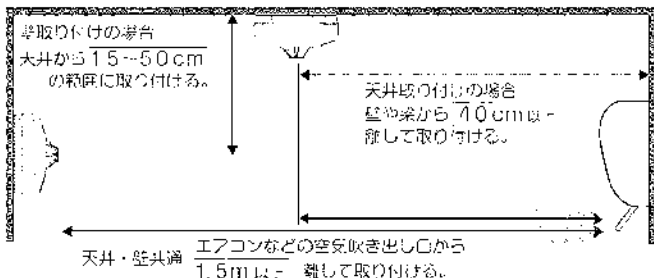
台所などへの取り付けをおすすめします。



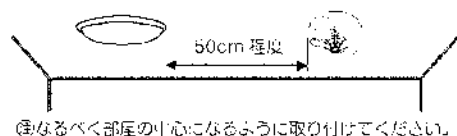
(※1) 台所や居間等は、各市町村条例により設置が義務づけられる場合があります。
(※2) 熱式は調理の煙や湯気による誤報の発生が心配される台所のみを設置してください。

取付位置

以下の取付位置を守り、『警報停止/テスト』ボタン（引きひもがある場合は引きひも）が操作しやすい位置に取り付けてください。



●上記を守ったうえで、照明器具から50cm程度離してください。



(なるべく部屋の中心になるように取り付けてください。)

0～40℃の温度範囲内で安定しない場所に取り付ける。

必ず守る
必ず止し取付場所に取り付ける。
次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因および正しく火災を感知できないおそれがあります。

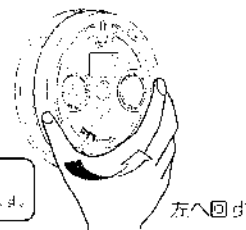
次のような場所には取り付けないでください。



9. 取り付ける前に

(1) 取付ベースをはずす

本体を押さえ、
取付ベースを左に回して
取りはずしてください。

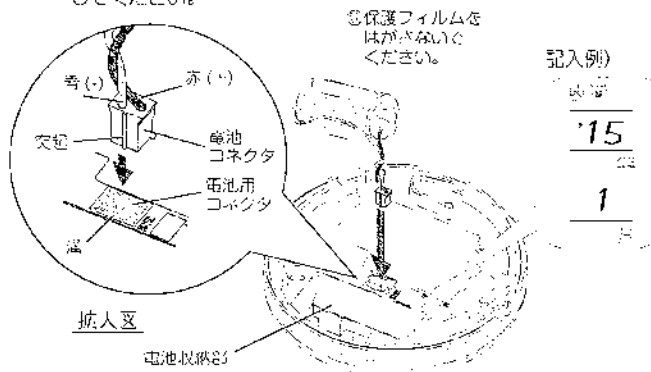


必ず守る

感知部を持っては触らない。
放置して火災を感知できなくなるおそれがあります。

(2) 専用リチウム電池を取り付け、設置年月を記入

①電池コネクタと本体側の電池用コネクタを接続します。
このとき仮人羽のように、電池コネクタの突起と本体側の電池用コネクタの溝をあわせて、奥までしっかりと差してください。



②本体の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。
このとき、赤線を電池と収納部の間に挟まないでください。
本体が取付ベースに取り付けられなくなります。

③本体裏面に、油性ペンで設置年月を記入してください。

記入例)
15
1

引きひもの取付方法

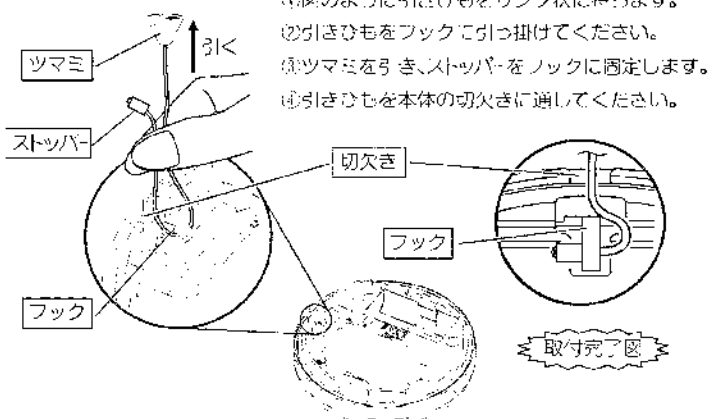
別売引きひも 形名 TFS-808

①図のように引きひもをリング状に持ちます。

②引きひもをフックに引っ掛けてください。

③ツマミを引っ張り、ストッパーをフックに固定します。

④引きひもを本体の切欠きに通してください。



注意

引きひもを取り付けるとき、フックが引かれて警報音やテスト音が鳴ることがあるので注意する。(誤作動の原因)

必ず守る

引きひもを強く引かない。
引きひもが壊れる。または取付状態によっては本体が落下するおそれがあります。

必ず守る

引きひもは本体の切欠きに確実に通す。
ボタンの操作ができなくなるおそれがあります。

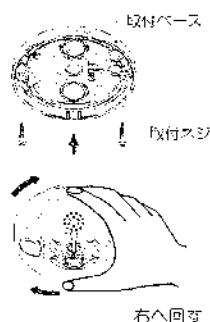
10. 取り付けかた

下記の要領で天井または壁面に取り付けます。

天井に取り付けるとき

- ①天井面の十分強度のある補強材などが通っている場所に、取付ネジで取付ベースを固定してください。

「警報停止/テスト」ボタンが
表示灯が見やすい位置になるよう
にベースの向きを合わせてくだ
さい。



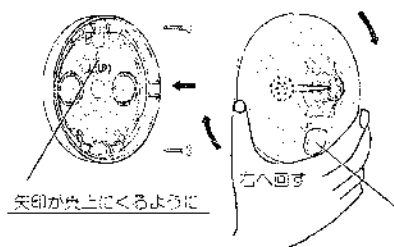
- ②本体の底面部を取付ベースに当て、止まるまで右に回してください。



付属の取付ネジ以外で取り付けない。
本体が熱して破損したり、ケガをすることがあります。

壁に取り付けるとき

ネジ止めして取り付けるとき



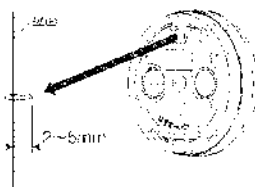
- ①壁面の十分強度のある補強材などが通っている場所に、取付ベースの向きを間違えないように（矢印を真上にする）取付ネジでしっかりと固定してください。

「警報停止/テスト」ボタンの
位置が上になるように

- ②「警報停止/テスト」ボタンが上になるように取付ベースと合わせ、止まるまで右に回してください。

掛けて取り付けるとき

- ①本体に取付ベースを取り付けてください。
②取付ネジを壁の途中まで垂直にねじ込んでください。
（ネジ頭と壁の間が2～5mmの範囲になるまでねじ込んでください。）
③ネジ頭に、取付ベースにある取付孔を引っ掛けてください。



警報器を取り付けた後は、必ずテストをして正常に動作することを確認してください。テスト方法は

6. 定期点検のしかた（テスト）を参照ください。



引きひもを取り付ける場合は、本体と取付ベースの間に引きひもを挟まないよう注意する。
ボタンの操作ができなくなるおそれがあります。

11. 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下表の対応をしてください。

下表のとおりに対処しても異常がある場合は、お買い上げの販売店または「東芝ライテック照明と防災センター」にお問い合わせください。

症状	原因	対処
火災ではないのに火災警報動作をする。	流す熱、スモークやコンロの熱、直射日光などの熱がこの内屋にあたっていませんか？ 熱感知器付近に熱が溜まっているか？	警報音を停止し、警報器周辺の熱が下がるまでお待ちください。 警報音を停止し、熱感知器の熱をうちわなどであおきき熱を取り除いてください。
火災警報動作をしない。	専用リチウム電池のコネクタがはみれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか？ 専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ 「電池切れ警報」が鳴っていませんか？	コネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。 新しい警報器または電池と交換してください。
	火災警報動作停止操作をしませんでしたか？ 表示灯（赤）がゆっくり点滅していませんか？	火災警報動作の停止操作後5分間は、熱を感知して警報器は鳴動しません。 ボタンまたは引きひもを操作すると「ビピ」と鳴ります。

症状	原因	対処
約1分間隔で「ビポッ」と鳴り、表示灯（赤）が5回点滅する。	「電池切れ警報」 電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。	新しい警報器または電池と交換してください。
約10秒間隔で表示灯（赤）が1回点滅する。	「電池切れ警報」の警報音を停止中です。	
約1分間隔で「ビッピッ」と鳴り、表示灯（赤）が3回点滅する。	「警報異常警報」 警報器の感度が劣化し、火災を正常に感知できません。	新しい警報器と交換してください。
約10秒間隔で表示灯（赤）が3回点滅する。	「警報異常警報」の警報音を停止中です。	
約1分間隔で表示灯（赤）が4回点滅する。	「交換時期メッセージ」 電池コネクタを接続して、10年を越えています。	
テストすると「ビピ」としが鳴らない。	火災警報音を停止中です。 表示灯（赤）がゆっくり点滅していませんか？	約5分経過後、再度テストしてください。
テストしても何も音が鳴らない。	専用リチウム電池のコネクタがはみれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか？ 専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ 「電池切れ警報」が鳴っていませんか？	コネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。 新しい警報器または電池と交換してください。

12. アフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は、

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料) 受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合もあります。

日本国内専用

Use only in Japan

13. 廃棄について

- この商品や電池を廃棄する場合は、分厚したり加工変形させず、町町村により定められたルールに従って廃棄してください。
(付属の電池は水銀を含みません。)
- 電池を廃棄する場合は、電池の保護フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻いてください。また、金属片など導通性のあるものと一緒に廃棄しないでください。絶縁状態にせずに廃棄すると短絡がショートし、発火、破裂の原因となります。

14. 仕様

型名	TCRL-10N
種別	定温式住宅用防災警報器
型式	電池方式 (DC3V、300mA)、自動試験機能付
国家検定型式番号	住警第 26 ～ 13 号
電源	専用リチウム電池 ^{※1} ・CH17335L-N-CN3 (公称電圧：DC3V)・CH17335 WK210 (右記いずれか)
電池寿命	約 10 年 ^{※2} (機器交換の目安 ^{※3})
警報音圧	1m にて 70dB 以上 (検定規格)
移動接点	—
外形寸法 (本体ベース含む)	φ82mm × 42.5mm
質量 (電池含む)	約 80g
主材	難燃性 PC 系樹脂
色	ナチュラルホワイト
使用温度範囲	0 ～ 40℃ (結露しないこと)
取付場所	天井・壁・扉

●引きひもは別売りです (形名：TFS-806)。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※1 専用リチウム電池 (サービス部品コード：*8173010)
(東芝テクノネットフック (株) 扱い)

※2 電池寿命は、使用温度などの外部環境や使用条件によって短くなる場合があります。

※3 電池コネクタを接続して 10 年を越えると交換提醒メッセージを鳴動します。

ナトリウム

15. 保証について

保証について

- 保証期間は、**商品お買い上げ日より 1 年間**です。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- 保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。その際は機器の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付け場所移動、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地災、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷
 - 車両、船舶等に搭載された場合における故障及び損傷
 - 第三者の不当に起因する故障や不具合
 - 法令、取扱説明書で要求される保守交換を行わないことによる故障及び損傷
 - 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 群馬および群馬に連する運輸路への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けず。

部品について

- 修理のため取り外した部品は、結露のおそれがない場合は弊社にて引き取りさせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ナトリウム

TN51752-0